※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	声楽とソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌う活動を通じて、正確なリズムや音程の理解、演奏表現について学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・音楽に関する基礎的な理論の理解や、必要な技能を身につけるために、少しずつ段階を踏みながら、繰り返し学習をすることで、定着を図ります。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

声楽やソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に歌唱表現するために要な技能を身に付けるようにする。また、視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
（２）音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力・判断力・表現力を育成する。
（３）音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽を形づくっている要素の基本的事項を理解している。曲想と音楽の構造や歌詞の関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） ・音楽を形づくっている要素を正確に表現するために必要な技能を身に付けている。創意工夫を生かした個性豊かな音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現する意図をもっている。	主体的・協働的に歌唱表現やソルフェージュの学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間	発声と読譜力を高めよう	「コールユーブンゲン」 「コンコーネ」	a:読譜に必要な基本的な音楽の要素について理解している。(知識) a:発声や発音、身体の使い方を意識して、リズムや音程を正確に歌う技能を身に付けている。(技能) b: 旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏テスト	ワークシート	観察 ワークシート
	音を聴き取り、正確に表そう	「聴音」	a 調性や拍子、音程やリズムを理解している。(知識) a.調性や拍子、音程やリズムを聴き取り、記譜する力を身に付けている。(技能) b.旋律を知覚し、調性感やリズム感をもってどのように記譜するかについて考えている。 c.旋律やリズムの関わりに関心を持ち、正しく記譜する学習に主体的に取り組もうとしている。	学習プリント	学習プリント	観察

※令和４年度以降入学生用

	曲想をとらえて、歌い方を考えよう。	「童謡」	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりについて理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。(技能) b:発声や発音について考え、歌詞の内容から自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 発声や言葉の発音による音楽の特徴や、歌詞の内容と曲想との関連に関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏発表	プレゼンテーション	観察 ワークシート
	様々な言葉に親しもう	「様々な言葉の歌」 ・日本語 ・英語 ・イタリア語	a:言葉の特性と:曲にふさわしい発声との関わりについて理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。(技能) b::発声や発音、身体の使い方などについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 発声や言葉の発音による音楽の特徴に関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏発表	ワークシート	観察

※令和４年度以降入学生用

後期期末	ハーモニーを感じ、言葉を伝えよう	「重唱・合唱」（3 部）	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりや、重唱や合唱による表現の特徴について理解している。（知識） a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。（技能） b:パートの役割や音の重なりを知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞との関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を工夫している。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、重唱や合唱による表現の特徴を理解し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
		「新曲視唱」	a:読譜に必要な基本的な音楽の要素について理解している。（知識） a:発声や身体の使い方を意識して、リズムや音程を正確に判断し、歌う技能を身に付けている。（技能） b.旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱表現を工夫している。 c.旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、視唱の学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏テスト	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度